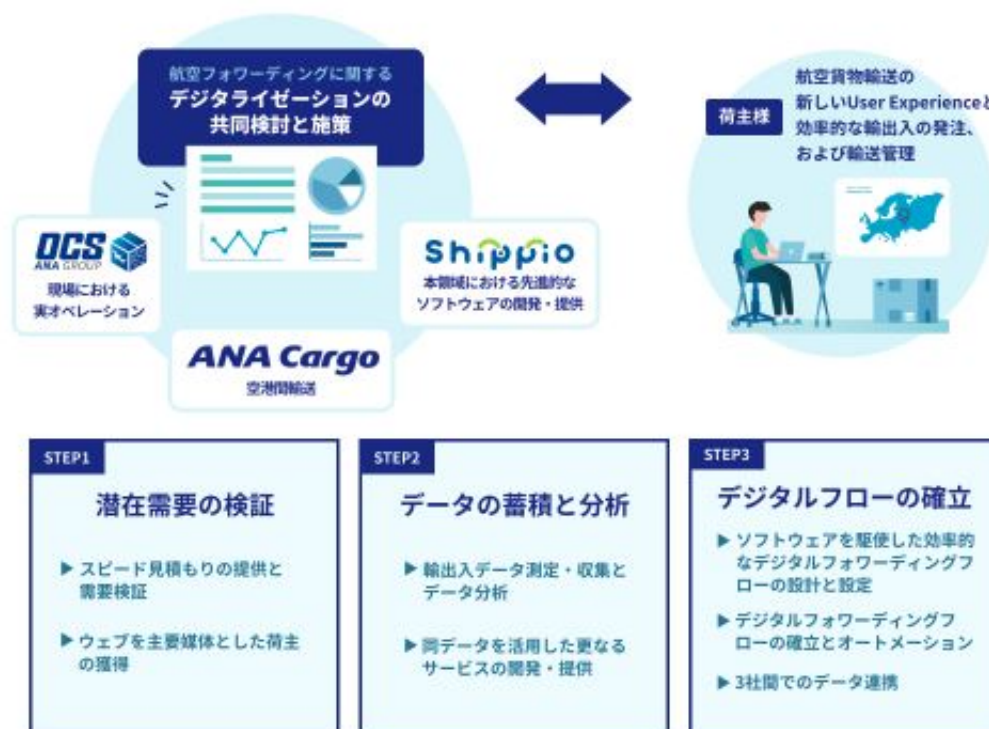


国際物流のシッピオ、ANA系2社と電子化効果検証

Edited By LogisticsToday On 2019/02/06

国際物流向けサービスを展開するスタートアップのShippio（シッピオ、東京都港区）は6日、ANAグループのOCS、ANAカーゴと3社で国際航空貨物輸送のプロセスを電子化し、その活用を目指す実証実験を行うことで合意し、検討をスタートさせたと発表した。

国際貨物輸送では、荷主が価格や最適な輸送方法、正確な輸送スケジュールをタイムリーに把握することが課題となっていたが、シッピオのウェブサービスを航空貨物に広げることで、輸送価格の迅速な把握、最適な輸送手段の選択、輸送貨物の動静管理ができるツールの実効性を確かめる。



具体的には、「誰もが貨物輸送を依頼できるウェブ上のプラットフォーム」を提供し、国際貨物輸送を「どの輸送経路で誰に依頼すべきかが分かり難い」という課題の解決につなげるため、ウェブによる航空貨物輸送の依頼・発注サービスを検証。「発送から到着まで同一のウェブプラットフォームによる動静管理が機能するかどうか」も確かめる。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/335622>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.